

# 身近な外来種を食べてみよう！

—特別公開編—



## ◆外来種ってなに？

もともとその場所にいなかった、別の場所から人の手で持ち込まれた生き物のことです。

○人の手で持ち込まれた  
飼いきれなくなって捨てられたり、  
逃げ出した生き物が多いです。



渡り鳥は自力で移動しているので  
外来種ではありません。

○外国だけじゃない

外国から持ち込まれた生き物を  
イメージしがちですが、  
日本国内の他の地域に  
人が移動させた生き物も  
外来種となります。(国内外来種)



## ◆ビオトープ公園の水辺でみられる外来種

ビオトープ公園の水辺でも、数種類の外来種が確認されています。代表的な2種をご紹介します。

### ウシガエル



- ・牛のように鳴くことから名付けられた
- ・食欲旺盛で、目の前で動くものを丸のみにする  
(ザリガニ、カエル、鳥のヒナ、魚など)
- ・夜行性
- ・脚の力が強く、長い距離をジャンプする

1918年 アメリカから食用として持ち込まれました。  
養殖場から逃げ出したものが野生で増えていきました。

### アメリカザリガニ



- ・魚、水草、水生昆虫などなんでも食べる
- ・大きなハサミはケンカや体の掃除、  
水草を切る時などに使う
- ・脱皮を繰り返して大きくなる
- ・とても丈夫なので  
水が汚い場所でも生きられる

1927年 アメリカから食用ウシガエルのエサとして持ち込まれました。  
ウシガエル同様、養殖場から逃げ出した個体が全国へ広がりました。

## ◆外来種問題

外来種が持ち込まれることで様々な問題が発生します。

### ウシガエルとアメリカザリガニの場合…

もともとそこにいる生き物(在来種)を食べてしまうため、  
在来種の数が減ってしまい問題になっています。  
在来種が少なくなるだけでなく、  
絶滅の危機に追いやられる種がでる程の  
深刻な被害がでることもあります。

外来種の種類によって起こる問題は異なりますが、  
外来種が持ち込まれることで  
もともとの生態系のバランスが崩れてしまうのです。

### ▼他の外来種が及ぼす問題と持ち込まれた経緯

#### ヒメダカの場合…

- ・野生のメダカの純粋な遺伝子が  
なくなってしまう。



品種改良で作られたメダカで  
野外へ放たれて増えてしまった。  
(第3の外来種)

#### ミシシippアカミミガメの場合…

- ・水草を食い荒らす
- ・在来種の食べ物や棲みかを奪う



ペットとして販売するために  
アメリカから輸入された。

# 作って食べてみよう！ ※必ず食用のものをご利用ください。

## ◆ウシガエルのから揚げ



### 材料

- ・冷凍ウシガエル (1匹)
- ・から揚げ粉 (10g)
- ・塩コショウ (2g)
- ・サラダ油 (適量)

1.



- ・ウシガエルを解凍する。  
※冷蔵庫で2日ほど自然解凍。
- ・塩コショウを入れた袋にウシガエルをいれもみこみ、冷蔵庫に一晚おく

2.



- ・キッチンペーパーでウシガエルの水気をふく。
- ・太ももにフォークで穴をあける

3.



- ・から揚げ粉を入れた袋にウシガエルを入れ全体にまぶす。

4.



- ・180℃に熱した油に入れ、3分揚げる

## ◆アメリカザリガニの天ぷら



### 材料

- ・冷凍ザリガニ (1匹)
- ・天ぷら粉 (25g)
- ・冷水 (35g)
- ・サラダ油 (適量)

※生きたザリガニを使用する際は丸1日、3回ほどきれいな水に変えながら泥抜きをして一度冷凍してから使用してください。

1.



- ・ザリガニを解凍する。  
※冷蔵庫で2日ほど自然解凍。
- ・ザリガニの腹と胸で折る。

2.



- ・尾の真ん中の一枚を折る。

3.



- ・折った尾をゆっくりひっぱると腸管(背ワタ)が抜ける。

4.



- ・殻をむく
- ・キッチンペーパーで水気をふく。

5.



- ・むいた身に串を刺す。

6.



- ・冷えた水とてんぷら粉をまぜる。
- ・身に衣をつける。

7.



- ・180℃に熱した油に入れ1分半揚げる。

## ◆アメリカザリガニの塩ゆで



### 材料

- ・冷凍ザリガニ (1～5匹)
- ・水 (1ℓ)
- ・塩 (15g)
- ・料理酒 (200g)



- ・水に塩を入れ、沸騰したら酒を入れる。
- ・ザリガニを入れ、5分ゆでる。

※食べる際は、天ぷらと同じように殻をむいて腸管をぬいてください。



いただきます！

2020年5月20日 桑袋ビオトープ公園

## ◆外来種は悪者なのか？

様々な問題を引き起こす外来種ですが、彼らは決して悪者ではありません。

生きものを食べるのも、棲みかをもつのも、子孫を残すのも、ただ一生懸命生きていただけなんです。

生態系に与える影響が大きいため駆除をしますが、どの生き物の命も大切であることに変わりありません。

在来種が受ける被害と 駆除しなければならない命を 減らすために

わたしたちになにができるか、一緒に考えてみませんか？

ビオトープ公園では問題となっている外来種をこれ以上増やさないようにプログラムをとおして外来種の駆除を行っています！